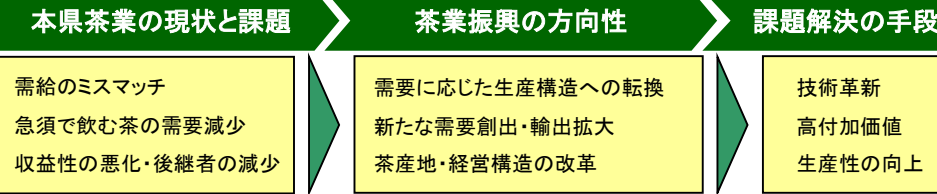


静岡県農林技術研究所茶業研究センター整備基本計画の概要

建設から50年以上が経過し、研究施設・設備が老朽化している農林技術研究所茶業研究センターの再整備、機能強化に向けて、「茶の都しずおか」の研究拠点「ChaOI-PARC (Cha Open Innovation Practical and Applied Research Center)」としてふさわしい機能を有する新たな施設等の整備に取り組むための「静岡県農林技術研究所茶業研究センター整備基本計画」を令和2年3月に公表

本県茶業を取り巻く現状と課題



茶業研究センター (ChaOI-PARC) の研究機能の強化

整備する施設のコンセプト

○茶業研究の特質を捉えた施設

- ・育種、栽培、病害虫、土壌肥料、製茶加工分野の横断的な研究を実現するための空間

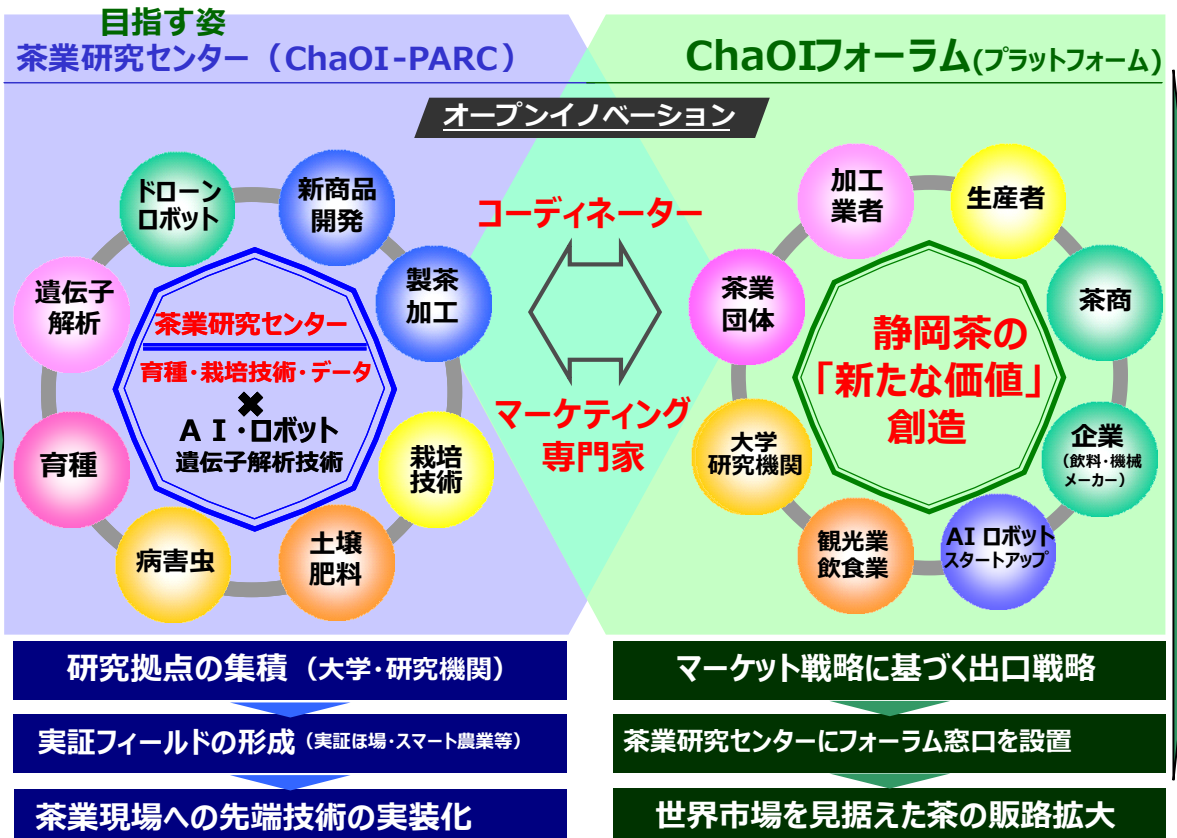
○研究機能を活性化させる施設

- ・研究科間の連携と相乗効果を生む共有空間
- ・オープンイノベーションによる先端技術を活用した研究に取り組むオープンラボ
- ・外部研究者が議論をしながら新たな発想で研究を展開する交流スペース
- ・研究内容の秘匿性が確保できる施設

○人材育成、交流、情報発信の施設

- ・茶業関係者の商品開発を促進するオープンファクトリーの拡充
- ・茶業関係者に研究成果を発表するホール、技術指導するセミナースペース
- ・品種の飲み比べができる場など、消費者や生産者、茶商等と情報を共有する空間(試飲スペース)
- ・日本茶インストラクターや消費者が研究成果等を学ぶことができるワークショップスペース
- ・研究成果や茶産業の歴史を紹介、情報発信する展示室、インターネットの活用

区分	今後の展開
AI・ロボット・ゲノム	<ul style="list-style-type: none"> 省力・省人化や高付加価値化に対応した技術開発 ○国内外の茶遺伝資源のデータベース化 ○スマート育種等による早期の品種育成と普及 ○平坦地でのドリンク等の原料茶生産の低コスト化 ○中山間地での高品質な茶の生産維持 ○AIによる農業抵抗性病害虫対策技術の構築 ○超省力・超低コスト病害虫防除体系の構築 ○大規模化に対応した省力・高効率施肥技術の開発 ○製茶機械の抜本的革新技術の開発
環境	<ul style="list-style-type: none"> 世界的に注目される環境へ配慮する技術の開発 ○耐病虫性の新品種の普及促進 ○気象変動に対応した安定生産技術の開発 ○時代ごとに問題化する病害虫発生予測技術の構築 ○ESGに対応した新たな環境保全型農業技術の開発
安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> 実需者へ安全・安心を届ける技術の開発 ○未来型IPM技術の構築 ○輸出対応型の病害虫対策 ○ESGに対応した有機栽培、衛生管理技術の開発
マーケティング・新商品	<ul style="list-style-type: none"> マーケットインの視点、世界市場を見据えた取組 ○ゲノム編集による特異的変異拡大の実現 ○多様な消費者需要に対応する新たな静岡茶の開発



「世界市場を見据えた茶の先端研究開発とオープンイノベーションの拠点」